平成25年2月伊賀南部環境衛生組合議会第175回定例会会議録

平成25年2月15日(金曜日)

~~~~~

議 事 日 程

平成25年2月15日(金曜日)午後2時 開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 諸般の報告
- 第4 議案第1号 平成25年度伊賀南部環境衛生組合一般会計予算について
(提案理由の説明、質疑、討論、採決)
- 第5 議案第2号 伊賀南部環境衛生組合議会等の要求により出頭した者等の実費弁償に関する条例の制定について
(提案理由の説明、質疑、討論、採決)
- 第6 議案第3号 伊賀南部環境衛生組合廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(提案理由の説明、質疑、討論、採決)
- 第7 議案第4号 平成24年度伊賀南部環境衛生組合一般会計補正予算(第2号)について
(提案理由の説明、質疑、討論、採決)
- 第8 議員提出議案第1号 伊賀南部環境衛生組合議会会議規則の一部を改正する規則の制定について
(提案理由の説明、質疑、討論、採決)

~~~~~

出席議員

石井 政 高田 稔嗣 永岡 禎 中本 徳子 前田 孝也
松村 頼清 三原 淳子 森岡 昭二 山下 松一

~~~~~

説明のため出席した者

管理者 亀井 利克 副管理者 岡本 栄
副管理者 前田 國男 事務局長 田中 実

総務担当参事	夏秋 佳生	総務担当参事	前川 清
総務担当参事	藤原 四郎	理事	井面 清司
総務室長	手島 左千夫	業務室長	酒井 隆郎

事務局職員出席者

書記長	田中 耕作	書記次長	米山 暢子
書記	牧田 優	書記	高倉 俊明

午後 2 時開議

(永岡禎議長席に着く)

議長(永岡禎) 皆さん、こんにちは。

川合滋議員より欠席の届け出がありましたので、ご報告いたします。

ただいまから平成25年 2 月伊賀南部環境衛生組合議会第175回定例会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

日程第 1 会議録署名議員の指名

議長(永岡禎) 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第85条の規定により、松村頼清議員、石井政議員を指名いたします。

日程第 2 会期の決定

議長(永岡禎) 日程第 2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本組合議会定例会の会期は、本日 1 日としたいと思いを。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(永岡禎) ご異議なしと認めます。よって会期は、本日 1 日と決しました。

日程第 3 諸般の報告

議長(永岡禎) 日程第 3、諸般の報告をいたします。

監査委員から平成24年12月及び平成25年1月に執行した例月出納検査結果の報告を受けました。報告書は、お手元に配付のとおりであります。

~~~~~

日程第4 議案第1号 平成25年度伊賀南部環境衛生組合一般会計予算について

議長（永岡禎） 日程第4、議案第1号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。管理者。

（管理者亀井利克登壇）

管理者（亀井利克） ただいま上程されました議案第1号、平成25年度伊賀南部環境衛生組合議会一般会計予算につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

まず、歳出予算の主なものを申し上げます。

総務費は、人件費を初め事務的経費や施設管理経費など6,227万9,000円でございます。

次に、環境衛生費でございます。収塵車管理費は、ごみ収集業務委託や指定ごみ袋に係る経費とともにごみ収集車を2台購入する経費など収集業務に関する経費であり、クリーンセンター費は、クリーンセンター運転管理業務委託や飛灰処理委託などの工場運営経費でございます。また、中継所費、最終処分場費、し尿処理場費につきましてはそれぞれ施設の維持管理に係る経費でございます。また、ストックヤード管理費は、旧清掃工場跡地に設置した紙、繊維類の保管施設の管理運営に係る経費でございます。

以上、環境衛生費の総額は13億6,083万3,000円でございます。

公債費は、組合債に係る元利償還金などで2億4,786万2,000円を計上し、予備費には不測の支出に備え500万円計上いたしております。

続きまして、これらの財源となります歳入でございますが、名張市及び伊賀市それぞれにご負担いただいております分担金は、名張市から12億2,987万1,000円、伊賀市から1億4,128万5,000円で、合わせまして13億7,115万6,000円をお願いいたしております。

次に、廃棄物処理手数料は、施設への直接搬入や指定ごみ袋による処理手数料などで2億2,146万8,000円を計上しております。

組合債は、ごみ収集車購入に係る清掃運搬施設整備事業債として1,520万円を予定いたしております。

また、その他の収入といたしましては、繰越金、諸収入を合わせまして6,837万

6,000円を計上いたしております。

以上、申し上げました平成25年度一般会計予算総額は16億7,620万円で、前年度との比較で910万円の減少となっております。何とぞよろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願いを申し上げ、提案理由のご説明とさせていただきます。

議長（永岡禎） これより質疑を行います。なお、本日の質疑は、会議規則第43条の規定により3回までといたします。三原議員。

議員（三原淳子） 一般会計予算について質問します。

まず、昨年平成24年度と比べ当初予算の額が910万円減額となっております。この根拠について質問したいと思います。

まず、全体的、統計的にどうしてこのマイナスで予算が組めたのか、それからクリーンセンター費についてですけれども、前年度比でもここでも減っております。2月5日で保証期間延長が終わったにもかかわらず、このクリーンセンター費をマイナスで予算を立てられたというところのその根拠について伺いたいと思います。

今後のメンテ、運転管理、どのように行うのか、それから管理委託の方法についても予算とまた方法についてお知らせください。

そして、この施設の検証について近大の専門部に意見をいただくということで、委託をして検証をお願いするということですが、その予算とその内容について明らかにしてください。

議長（永岡禎） 事務局長。

事務局長（田中実） まず、平成25年度の予算に当たりまして、特に当組合におきましては委託料全体を通しての内容の精査をいたしました。庁内的にも、副市長を中心とした技術者を集めた検討委員会を立ち上げていただきまして、クリーンセンターのみならず浄化センター、あるいは他の施設におきましても維持管理及び修繕あるいは点検、それぞれ項目をくまなくチェックさせていただき精査したところ、一定平成24年度と比較いたしまして減額でもって同年度の維持ができるということをさせていただきました。

特にクリーンセンターにつきましては、保証期間が本年2月5日をもって終了いたしました。したがって、これまでからすると相当な予算が増額するだろうという懸念もありましたが、実は平成24年度クリーンセンターでの修繕費、これが9,700万円、あるいは維持管理とメンテナンスの方でも2,600万円ということになりますけれども、およそ1億2,000万円ですさせていただいて、現段階でも補正をせずに維持管理が適正に行われ

ております。

こうしたことから、保証期間を除くものについては一定の予算がその部分で確保できるだろうと、あわせてこの保証期間でありますけれども、このリサイクルセンター全体が実は保証期間ではなくて、この中には破碎ごみの投入装置から溶融炉を中心とした装置というふうに限定いたしております。この保証期間が24項目ということで限定して、実は保証を1年間したわけですが、この分も2月5日の前に全ての項目のチェックをいたしました。

このチェックの中で、改めて補修工事、部品交換等三機において責任を持ってやっていただいて、平成25年度において運転に支障を来さない対応を本年度をもってやってほしいということも重ねてお願いさせていただきました。

したがって、平成24年度、平成25年度もほぼ同額でもって予算そのものを組まさせていただきますということでもあります。

他のものにつきましても、そうした委託料そのもののくまなく細かいチェックによって減額という形で適正な維持管理ができるということで予算を組まさせていただきました。

もう一つ大きなことは、実はこの主軸の破断につきましても、近大の先生から非常に適切なお指導をいただいて、この部分の機能更新を図らせていただいたという経緯がございます。

こうしたことで、平成24年度も実は400万円の委託費でもって当センターには既に今現在3回、一番多いときで8名の先生がお越しいただき、通常でも4人以上はお越しただいて、くまなく機械等を見ていただいております。あわせて、我々の点検する項目についても今までの経験を生かしたご指摘をいただき、ご指導もいただいております。

こうしたことも今回委託の中にも十分反映をさせていただいて、この委託の精査による効果があったとこのように思っております。これも、平成25年度でお客様の方にも技術共同研究委託とこの辺を踏まえ、平成25年度も同様にさせていただきたいと思っておりますけれども、その主な経費そのものはクリーンセンターの設備に係るそれぞれの機械、そういうものの調査検討ということの専門的なものをですね、機械そのものの通常の寿命といいますが、そういうものも含めて技術指導をいただこうということで、主にそういうことをやっていただくと。

あわせて、職員の資質向上という形でも研修会等も先生からご指導いただこうと

いうことも計画させていただきたい。

こうしたことで、引き続き近大高専の先生方にもご指導を仰ぎながら適正な管理に努めていきたいとこのように考えております。

議長（永岡禎） 三原議員。

議員（三原淳子） 少し抜けていたところで、今後のメンテ、運転管理をどのように行うのか、管理委託の方法と予算についてが抜けていたので、引き続き質問します。

そして、あわせて今お話し伺ったところでは当初故障が相次いでいましたが、今のところは調子よく稼働してるというふうに思うんですが、その後の様子、それから改めての90日連続稼働というのを求めておりましたが、そのところがどんなふうになったのか伺いたいと思います。いかがでしょうか。

議長（永岡禎） 事務局長。

事務局長（田中実） 当施設の運転管理については、現在も三機化工建設の方でさせていただいてます。また、そうした修繕等はこれまで保証期間があったということから三機工業をお願いしておりましたが、一定保証期間を満了したということで、あわせて平成25年度は修繕あるいは定期点検等も三機化工建設をお願いしたいと思っております。

このことによって、非常に点検業務の効率化ということによって委託費の減額にも我々としては効果をもたらすということで、運転管理については三機化工の方にお願いをさせていただきたいと思っております。

機械の方につきましても、今のところ順調に動いておりますが、現在のところ90日の連続稼働を改めてやるということでの計画は持っておりません。

議長（永岡禎） 三原議員。

議員（三原淳子） 三機工業、施工者である三機工業から三機化工に委託ということで、これは子会社というふうに聞いておりますけれども、今の運転管理の方していただいて、そこがまたメンテの方も一緒に広めてしていただくということなんですけれども、三機工業が完全に撤退することなく、幾ら三機化工が維持メンテ、管理委託するとしても同じように安全に動くこと、責任を持って一緒に見ていただきたいというふうに思います。

それから、以前伊賀より先に施工されました鳴門の方、順調に動いている鳴門の方の職員を1人、三機の職員1人こちらに来て運営に当たるといふふうに聞いてたんですけ

れども、それは今どんなふうになったのか。

当初、そんなふうにするというふうに一時間聞いたことがありますので、それがどうなっているのか、そして今後どんなふうにして三機さんに一緒にこの安全運転について責任を持ってもらうのか、そのところを質問したいと思います。確認したいと思いません。

それから、近大の専門部の方に検証を委託しているということで、平成24年度も3回していただいたということなんですけども、その内容もこの組合議会でどういった内容を検証されて、どんなふう意見が述べられたのか、そういった書類もあわせてこれから見せていただきたいんですね。

そうすると、状況というのも私たちがわかりますし、三機に任せることなく、しっかりと維持管理、そして修繕にかかる費用に関しても私たちがチェックできると思いますので、そのところを出していただきたい。適正な運転管理で安全にクリーンセンターの役割を果たしてもらいたい、これが一番の言いたいことでもあります。そういったところを今質問で答え抜けていたところ、幾つかありますので、お答えください。

議長（永岡禎） 事務局長。

事務局長（田中実） 議員のご指摘のように、当クリーンセンターの適正管理については引き続き我々としてもやっていきたいとこのように考えております。

それと、この維持管理の件につきましても、実は鳴門市との情報交換をさせていただきまして、現在鳴門市も全体的には1億5,000万円以内で管理されているということも参考にさせていただきまして、我々としても委託料の積算に反映をさせていただいております。

ただ、先ほど議員の方からご紹介いただきましたように、鳴門の職員、三機がこちらへ来てということについては現在そういうことについて、我々としては具体的にはお聞きをいたしておりません。

以上でございます。

議長（永岡禎） ほかに質疑はございませんか。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（永岡禎） ないようでありますから、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（永岡禎） 討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第1号について採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（永岡禎） 起立全員であります。よって議案第1号は、原案のとおり可決されました。

~~~~~

日程第5 議案第2号 伊賀南部環境衛生組合議会等の要求により出頭した者等の実費弁償に関する条例の制定について

議長（永岡禎） 日程第5、議案第2号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。管理者。

（管理者亀井利克登壇）

管理者（亀井利克） ただいま上程されました議案第2号、伊賀南部環境衛生組合議会等の要求により出頭した者等の実費弁償に関する条例の制定につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

本議案は、地方自治法の一部改正に伴い、本会議において公聴会を開き、参考人等の意見を聞くことができることとされたため、その参考人等の実費弁償について必要な事項を定めようとするものでございます。

以上、よろしくご審議の上、ご決定いただきますようお願いを申し上げ、提案理由のご説明といたします。

議長（永岡禎） これより質疑を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（永岡禎） 質疑がないようでありますから、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（永岡禎） 討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第2号について採決いたします。本案は、原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（永岡禎） 起立全員であります。よって議案第2号は、原案のとおり可決されまし

た。

~~~~~

日程第6 議案第3号 伊賀南部環境衛生組合廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部
を改正する条例の制定について

議長（永岡禎） 日程第6、議案第3号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。管理者。

（管理者亀井利克登壇）

管理者（亀井利克） ただいま上程されました議案第3号、伊賀南部環境衛生組合廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

本議案は、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の成立に伴い、国が一律に定めておりました一般廃棄物処理施設に置く技術管理者の資格基準について、各地方公共団体の条例で定めることとされたことから、所要の整備を行うこと及び名張市における指定ごみ袋に係るごみ処理手数料を見直そうとするものでございます。

以上、よろしくご審議の上、ご決定いただきますようお願いを申し上げ、提案理由のご説明といたします。

議長（永岡禎） これより質疑を行います。三原議員。

議員（三原淳子） 条例の改正について質問します。

まず、技術管理者の資格については、全協でも言いましたように、法の目的の独自性、自主性を高めるとというのが法の目的でありますから、質を下げることなく名張市独自に技術が向上するように続いて努めていただきたいというふうに思います。

それから、家庭ごみ袋の価格の見直しについて質問します。

この家庭ごみ袋の価格引き下げは、市長が言ったとおりに今回引き下げをしていただいたことを感謝します。しかし、この値段設定なんですけども、まだまだこのごみ袋が高い価格を設定して、インセンティブを働かせてごみの減量を図るといふこの方針に変わりがないということなんですけど、廃棄物処理法でも一般廃棄物は自治体固有の義務とあります。ごみがあふれて困っているから、受益者負担を求めてごみ有料化というのが国の行革の一環として行われたわけでありまして。

これは、大量生産、大量廃棄の時代から来ているもので、今だんだんとそういう時代

がもう終わってきている時代だと思うんですね。ここでも見直すことが必要ではないかというふうに思います。

そして、なお名張市では分別を早くから取り組んで、市民もしっかりと協力してくれている。20%削減が定着したということで今回も市民への還元ということで、このごみ袋を引き下げていくということなんですけれども、これはやはり消費者、市民にばかりごみ減量、お金の負担、そして分別の負担をかけるのではなく、やはり生産の段階からということを進めなければ、根本的なごみの減量の解決にはならないというふうに思っております。

この全協の前の名張市の全協でも言ったように、ごみゼロアクションプログラムのところでも、ごみ減量というのを環境問題としての位置づけ、ここがもう少し力を入れなければならないのではないかなというふうに思っております。

この家庭ごみ袋の価格についても、やはり市民の声として青山と一緒にしてほしいというのが大きな思いがあるわけです。そして、この価格の設定についても今引き下げていただいても、この原価から見たら一番大きい袋45リットル68円を54円にするんですけれども、製造原価というのは10円77銭、約11円なんですね。4.9倍の値段がかけられている、こういったことで、名張市として独自のものですけど、環境衛生組合として7,000万円余の利益が上がっているということですよ。

このところ、やはり解消する必要があるというふうに以前から私は言っているんですけれども、その考え方について、インセンティブを働かせてごみの家庭袋の袋を高くしてごみを減らすのではなく、根本的なところからごみ減量に取り組む必要がある、このことについてどのようにお考えでしょうか。

議長（永岡禎） 総務担当参事。

総務担当参事（夏秋佳生） 以前にも三原議員からこういったご質問をいただきました。

そのときもお答え申し上げましたが、名張市では平成12年からごみゼロリサイクル社会を目指そうということでごみの減量化、資源化、分別資源化に取り組んできました。そして、皆さん方にご協力をいただきながら減量を図ることができました。

その上で、さらに減量を図るといったことで今ご紹介いただいたようにインセンティブを働かすということで、ごみの有料化、ごみ袋の有料化を導入してきたところです。

そういったことでは、名張市としては今までいろんなさまざまな手法を通じてごみの減量化、資源化、そして大きくは環境問題への負荷を低減していくといったことで取り

組んできております。

そういったことで、今回はこのたびの値下げにつきまして、価格の見直しにつきまして、皆様方のご協力をいただいて20%以上の減量が図れたといったことで、その皆様方の減量化意識が定着したといったことの中で今回還元といった形で見直しをさせていただいております。私どもとしては、引き続き市民の皆様方、そして事業者の皆様方も引き続きご協力いただきながらごみゼロ社会を目指していきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

議長（永岡禎） 三原議員。

議員（三原淳子） 価格にインセンティブをかけて、ごみ袋を高くしてごみを減らすという根本的なところを問うているんですけどね。ごみ袋を有料化しなくてもごみが減っている自治体もあるんですよ。その削減率というのは緩やかではあります、しっかりと定着しているというところがあります。前も紹介したんですけど、交野市とか香芝市というのはしっかりとデータが出ております。こういったところを参考にしてほしいわけです。

そして、負担、インセンティブが負担じゃなくて還元というふうな逆のごみ減量したら市民がプラスになるようなインセンティブ、そういった還元というものに転換して、こんなふうにごみを減量したら、資源化したらごみが減って、こんなふうのリサイクルして使えるんですよというところの方を強調してほしいというふうに思ひます。そのところをぜひとも改めて考え直して、明確にしてほしいと思ひますね。

それと、市民にばかりでなくやはり事業者、生産の段階からというのを力を入れてほしいということには全く答えが返ってこないわけで、このところもう一つ再度聞きたいんですけど、いかがでしょうか。

議長（永岡禎） 夏秋総務担当参事。

総務担当参事（夏秋佳生） 平成20年4月に有料化を導入してきました。そのおかげで市民の皆様方のご協力をいただきまして、先ほど申し上げたとおり20%以上の減量化を図ることができました。これによりまして、皆様方に還元という形で今回は値下げをさせていただくんですが、この効果を全く無にしてしまうようなことがあってはならないというふうに私は考えております。

そんなことでは、いろんな考え方があると思ひます。全くゼロにしてしまったらどうかとか、伊賀市と同じ価格にしたらどうかとかいろんな形があるかとは思ひますが、

私どもとしてはこの効果が無にすることのないように今回値下げを考えていきたいというふうに考えてます。

そういった中では、今回約20%の値下げではありますが、三原議員さんもおっしゃっていただいたように、私どもとしては引き続き皆さん方になおかつ今20%の値下げを行った後でも、引き続き減量化がどんどんどんどん図れるようであれば、私どもとしてはその効果も一定検証しながら、引き続き見直しも含めて検討していきたいというふうには考えておりますので、そういったことでは市民の皆様方に引き続き値下げはしたけど引き続き減量なり、リサイクル、資源化なりを図っていただくように私どもとしては積極的に広報等を通じて、そして環境学習を通じて周知をしていきたいというふうに考えております。

議長（永岡禎） 三原議員。

議員（三原淳子） 本当に市民の皆さん、丁寧に分別してくれてるんですよね。例えば、マヨネーズのパックにしてもきれいにちょっとゆすいでプラに出してくれたりって、本当に丁寧にしてくれてるわけで、そこを信頼してそこを生かして、もっとそれをよくしていくというふうな政策に変えていただきたいというふうに思います。

市民から集めたお金で立派な袋をつくって、そこにまたインセンティブかけて組合が利益が上がってるって、この仕組みはどうしても変えて、根本的に改善してほしいと思うんですね。

ごみを減らせば減らすほど袋の価格は安くなる設定ではありますけれども、それでもやはり7,000万円市民からもらって利益になってる、市が利益になっていることを市民が知ったら、ええというふうな声が上がってますから、ここを解消してほしいと思います。袋の価格、指定袋にするのであれば原価で、そして青山で同一で、そして有料化ということではなく、環境問題としてごみ減量を図ることを重ねて進めていきたいということを言っておきます。

以上です。

議長（永岡禎） ほかにございませんか。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（永岡禎） ないようでありますから、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（永岡禎） 討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第3号について採決いたします。本案は、原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（永岡禎） 起立全員であります。よって議案第3号は、原案のとおり可決されました。

~~~~~

日程第7 議案第4号 平成24年度伊賀南部環境衛生組合一般会計補正予算（第2号）
について

議長（永岡禎） 日程第7、議案第4号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。管理者。

（管理者亀井利克登壇）

管理者（亀井利克） ただいま上程されました議案第4号、平成24年度伊賀南部環境衛生組合一般会計補正予算（第2号）につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

今回お願いいたします補正予算は、それぞれの事業進捗を踏まえ、所要額の精査をいたしたものでございます。

それでは、歳出からご説明申し上げます。

まず、議会費は会議時間の増加に伴い会議録の作成に係る委託料を3万8,000円増額いたしております。

総務管理費及び収塵車管理費は、人件費等の所要額精査とともに共済組合負担金の増に伴い、それぞれ10万4,000円と80万8,000円の増額をいたしております。

中継所費は、臨時職員賃金の所要額精査等により1万7,000円を減額いたしております。

クリーンセンター費は、人件費や薬品費の需用費の所要額精査により86万3,000円を減額いたしております。

最終処分場費は、人件費の所要額精査により1万円を減額いたしております。

し尿処理場費は、修繕料や薬品費の所要額精査により700万円を減額いたしております。

公債費は、組合債の元金の繰上償還金として30万円を計上いたしておりますが、償還金利子の所要額精査等により28万1,000円を減額いたしております。

次に、歳入でございますが、まず廃棄物処理手数料は指定ごみ袋に係るごみ処理手数料の収入状況に基づき、収入見込み額を精査した結果300万円を減額いたしております。

この結果、分担金は名張市分が396万4,000円の減額、伊賀市分が25万7,000円の減額となり、合わせて422万1,000円を減額いたしております。

これらによりまして、補正後の歳入歳出総額はそれぞれ16億9,435万3,000円となっております。

以上が今回お願いいたします補正予算の概要でございます。何とぞよろしくご審議を賜りましてご決定くださいますようお願いを申し上げ、提案理由のご説明とさせていただきます。

議長（永岡禎） これより質疑を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（永岡禎） 質疑がないようでありますから、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（永岡禎） 討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第4号について採決いたします。本案は、原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（永岡禎） 起立全員であります。よって議案第4号は、原案のとおり可決されました。

~~~~~

日程第8 議員提出議案第1号 伊賀南部環境衛生組合議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

議長（永岡禎） 日程第8、議員提出議案第1号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。山下松一議員。

（議員山下松一登壇）

議員（山下松一） ただいま上程されました議員提出議案第1号、伊賀南部環境衛生組合議会会議規則の一部を改正する規則の制定について、提出者を代表いたしまして提案理由の説明を申し上げます。

本議案は、地方自治法の一部改正に伴い、本会議において公聴会の開催及び参考人の招致ができることとされたことに伴い、伊賀南部環境衛生組合議会会議規則について当該手続を整備するため所要の改正を行うとともに、組合の休日は休会とする改正等を行うとするものであります。

以上、よろしくご賛同賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

議長（永岡禎） これより質疑を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（永岡禎） 質疑がないようでありますから、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（永岡禎） 討論がないようでありますから、討論を終結いたします。

これより議員提出議案第1号について採決いたします。本案は、原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（永岡禎） 起立全員であります。よって議員提出議案第1号は、原案のとおり可決いたしました。

先ほど三原議員よりもうかっているとの発言がありました。市民に誤解を招くこととなりますので、注意いたします。

~~~~~

議長（永岡禎） 以上をもちまして本組合議会定例会に付議されました事件はすべて終了いたしました。

これをもって、平成25年2月伊賀南部環境衛生組合議会第175回定例会を閉会いたします。

午後2時32分閉会

~~~~~

議長は、この会議録をつくり、署名者とともに署名する。

議 長

議 員

議 員